

本救急医療財団の活動報告

橋本 昌男 事務局 長

2025年12月中旬から2026年2月上旬までの財団の活動について報告します。

総務部門に関する報告

阿部 光雅 総務 部

1. 第34回全国救急隊員シンポジウム、全国メディカルコントロール協議会連絡会の出席について

令和8年1月22日（木）・23日（金）の2日間、「熊本城ホール」において、一般財団法人救急振興財団と熊本市消防局の共催により「第34回全国救急隊員シンポジウム（KUMAMOTO2026）」が開催されました。横田裕行理事長は、2日目の9時からメインホールで「教育講演4」「救急現場と生命倫理～いのちの終わりにどう向き合うか～救急活動に求められる医療倫理」を講演（約90分）しました。また、上記シンポジウム終了後は同会場で「令和7年度全国メディカルコントロール協議会連絡会（第2回）」が開催され、横田裕行理事長はパネルディスカッション「効果的な多職種連携を目指すための相互理解について」（5演題）の座長（約80分）を務めました。

2. 令和7年度新宿区医師会勤務医支部総会における講演について

新宿区医師会が開催する「新宿区医師会勤務医支部総会」では、以前から年1回の講演会を開催しており、今年度は令和8年2月9日（月）19時～21時に独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）東京新宿メディカルセンター附属看護専門学校講堂で行われました。今年度は当財団の横田裕行理事長が「東京都救急医療の現状・課題」の講演をしました。

3. 令和7年度第2回佐賀医学会・日医生涯教育講座における特別講演について

佐賀医学会は会員に対する生涯教育の一環として「佐賀医学会・日医生涯教育講座」を令和8年2月28日（土）15:30から佐賀メディカルセンター4階城内記念ホールで開催するにあたり、「救急医療関連」についての特別講演を当財団の横田裕行理事長に依頼がありました。

特別講演は15:40分より約50分間、「救急現場におけるDNAR」について、プロトコルの体制整備についての知見や課題等を、医師会員及び県内消防本部の救急隊員を対象として講演しました。